

科目名	多文化音楽教育概論				授業期間	通 年
担当教員	赤羽美希				科目 No.	MME2295
受講対象	音楽教育 2～4 年				単位数	4 単位
目 標 ／ 概 要	<p>目標：多文化音楽教育の概念を理解し、その視点を取り入れた音楽科の授業を設計できるようになる。 世界各国の音楽事情と教育についての知識を深めるとともに、インターネット、文献資料等を積極的に活用しながら、情報収集能力を養う。</p> <p>概要：多文化音楽教育の概念および世界各国の音楽文化やその地域の教育がどのように行われているのかについて解説する。様々な地域に暮らす人々の文化、教育についての理解を深めるとともに、我が国の音楽、音楽教育に改めて目を向ける機会としたい。</p>					
授 業 計 画	春 学 期					
	1	オリエンテーション～多文化音楽教育とは				
	2	日本の音楽事情と教育 1（日本の伝統音楽を体験するワークショップ）				
	3	日本の音楽事情と教育 2（日本の伝統音楽について調査する～1 回目）				
	4	日本の音楽事情と教育 3（日本の伝統音楽について調査する～2 回目）				
	5	日本の音楽事情と教育 3（日本の伝統音楽をテーマとした発表）				
	6	日本の音楽事情と教育 3（日本の伝統音楽をテーマとした発表、日本の音楽教育の現状についての解説）				
	7	西欧の音楽事情と教育 1（西洋のフォークダンスを体験する）				
	8	西欧の音楽事情と教育 2（リトミック）				
	9	西欧の音楽事情と教育 3（コダーイの音楽教育～1 回目）				
	10	西欧の音楽事情と教育 4（コダーイの音楽教育～2 回目）				
	11	西欧の音楽事情と教育 5（オルフの音楽教育～1 回目）				
	12	西欧の音楽事情と教育 6（オルフの音楽教育～2 回目）				
	13	西欧の音楽事情と教育 7（創造的音楽学習～1 回目）				
	14	西欧の音楽事情と教育 8（創造的音楽学習～2 回目）				
	15	西欧の音楽事情と教育 9（イタリアの音楽教育）				
	秋 学 期					
	1	東アジアの音楽事情と教育 1（中国・韓国の歌について調査する～1 回目）				
	2	東アジアの音楽事情と教育 2（中国・韓国の歌について調査する～2 回目）				
	3	東アジアの音楽事情と教育 3（中国・韓国の歌をテーマとした発表～前半グループ）				
	4	東アジアの音楽事情と教育 4（中国・韓国の歌をテーマとした発表～後半グループ）				
	5	東アジアの音楽事情と教育 5（中国の音楽事情と教育）				
	6	東アジアの音楽事情と教育 6（韓国の音楽事情と教育）				
	7	発展途上国の音楽事情と教育 1（アフリカのリズムアンサンブル・遊び歌を体験する）				
	8	発展途上国の音楽事情と教育 2（アフリカの音楽事情と教育）				
	9	発展途上国の音楽事情と教育 3（カンボジアの音楽事情と教育）				
	10	発展途上国の音楽事情と教育 4（ベネズエラの音楽教育）				
	11	多文化音楽教育の視点から授業を設計する（発表準備～1 回目）				
	12	多文化音楽教育の視点から授業を設計する（発表準備～2 回目）				
	13	発表 1～前半グループ				
14	発表 2～後半グループ					
15	まとめ					
準備学習の内容	授業でとったノートを毎回整理し、復習すること。疑問点や不明確な点があれば自分で調べたり、学生同士ディスカッションしたり、教師に質問したりして確認すること。					
履修上の注意	授業の中でグループワークを行うので、積極的に参加すること。					
評価方法	試 験	課題(レポート含)	発 表	平常点	その他	合 計
		20%	20%	60%		
	補 足	出席は 2/3 以上が必須。				
教材等	<p>配付プリント。教科書は使用しない。</p> <p>参考書：島崎篤子・加藤富美子『授業のための 日本の音楽・世界の音楽 日本の音楽編、世界の音楽編』音楽之友社、2014 年。</p>					